

児童図書室だより No. 94 (2016. 1発行)

読んでみませんか 児童図書室がえらんだものがたり・ちしきの本

本の情報	内容
<p>『ちやいろいつつみ紙のはなし』</p> <p>アリソン・アトリー 作 松野 正子 訳 殿内 真帆 絵 福音館書店 2015.9 【小低】</p>	<p>ちやいろいつつみ紙は、新聞屋さんのたなの上で、たいくつしていました。クリスマスが近づいたある日、ちやいろ紙は一軒の家に連れていかれました。そこでちやいろ紙は、プレゼントの入った箱を包むのに使われました。ちやいろ紙は、いよいよ冒険の旅に出ます。</p> <p>原作は1962年に書かれた作品ですが、「時の旅人」や「思い出のマーニー」の訳者である松野正子さんの訳と、おしゃれな挿絵によって、時代を感じさせないステキな本に仕上がっています。</p> <p>(J933-アト-1111110391)</p>
<p>『電車でノリノリ』</p> <p>新井 けいこ 作 たかおか ゆみこ 絵 文研出版 2015.7 【小中～】</p>	<p>私は横田乃里（ノリ）、小学4年生。この春転校してきたんだけど、友だちは、はるちゃんと咲ちゃんの二人だけ。本当は人気者の美花ちゃんのグループに入りたかったのになあ。社会科見学の班決めでは、クラスの残りもの男女5人の班になってしまった。しかも私以外の4人は電車が大好き。私は電車なんて興味ないし、話もさっぱりわからない。でもこの4人と一緒にいると、なんだか楽しくて、私も好きになりそうな気がするの……。電車が好きな人もそうでない人も楽しめますよ。</p> <p>(J913-アラー-1111080309)</p>
<p>『おばけ道、ただいま工事中!』</p> <p>草野 あきこ 作 平澤 朋子 絵 岩崎書店 2015.8 【小中～】</p>	<p>翔太が目を覚ますと、女の子がまくら元に立っていました。サトという女の子のおばけは、翔太の部屋に仮のおばけ道を通させてほしいと言います。翔太はおそろしくて引き受けてしまいます。お礼に5枚の「おばけクーポン」を置いてサトは見えなくなりました。次の日から一週間、夜中の2時から3時の間、翔太の部屋にはおばけ道が現れるようになります。そして翔太は「おばけクーポン」を使ってステキな経験をします。ちょっとコワいけど、こんなおばけ道なら、いいかもしれないって思えるかも？！</p> <p>(J913-クサ-1111094055)</p>
<p>『アカシア書店営業中!』</p> <p>濱野 京子 作 森川 泉 絵 あかね書房 2015.9 【小高～】</p>	<p>アカシア書店の児童書コーナーはとっても充実していて、本が大好きな大地は毎日通っています。その児童書コーナーに危機がせまっていることを知った大地は、友達の智也や同じクラスの真衣や琴音と一緒にどうすれば本が売れるかアイデアを出し合います。自分たちで本のポップを作ったり、同じ本を読んだ人が順々にコメントを書く本のリレーを開催したり……。果たしてアカシア書店児童書コーナーの運命はいかに！そして大地のおじいさんが意外な大物でびっくり！の、一気に読めるストーリーです。</p> <p>(J913-ハマ-1111110622)</p>
<p>『ニレの木広場のモモモ館』</p> <p>高楼 方子 作 千葉 史子 絵 ポプラ社 2015.10 【小高～】</p>	<p>モモとモカは同じ小学5年の転校生。ニレの木の下で、ぐうぜん出会ったモモとモカと1つ年下のカンタは、壁新聞「モモモ館」を作ることになります。近所に住む絵のとっても上手なリックんや、リックんのかえ玉を引き受けることになったコートも加わって、ドキドキワクワクするようなお話が展開します。身近な出来事を集めた「モモモ館」の記事も楽しく、やさしいタッチの挿絵もお話を引き立てています。仲間っていいなあと感じるお話です。</p> <p>(J913-効-1111123649)</p>
<p>『茶畑のジャヤ』</p> <p>中川 なをみ 作 鈴木出版 2015.9 【小高～】</p>	<p>小学5年生の周は、クラスで仲間外れにされ、心が折れそうになっていた。そんな時、祖父から仕事でスリランカに行くので一緒に行こうと誘われる。周はスリランカに着くと、すぐにジャヤという少女と仲良くなる。スリランカの日常に触れ、そしてジャヤやジャヤの父親のセナさんから、スリランカに今も残る民族同士の対立について話を聞くことで、周は小学校で起こっていたことを小さなことだと感じるようになる。そして、戻ったら新しい場所へ向かおうと決心する。</p> <p>(J913-ナカ-1111121250)</p>

本の情報	内容
<p data-bbox="272 226 647 259">『みんなで作る1本の辞書』</p> <p data-bbox="355 297 564 389">飯田 朝子 文 寄藤 文平 絵 福音館書店 2015.9</p> <p data-bbox="411 427 509 454">【小中～】</p>	<p data-bbox="716 219 1374 400">「なぜ電車も、柔道の勝負も『1本』と数えるの？」この本を書いた飯田先生は、留学生の友だちの質問に、きちんと答えることができず、「ならば、私が『1本』の辞書をつくってみよう！」と思いたちます。この本には『1本』と数えるものがたくさん集めてあります。あそび心あふれるイラストも見ていて楽しいです。みなさんも『1本』と数えるものを探してみてもいいでしょうか。</p> <p data-bbox="1145 427 1374 454">(J815-イイ-1111107940)</p>
<p data-bbox="256 472 663 535">『セルマの行進 リンダ十四歳投票権を求めた戦い』</p> <p data-bbox="277 555 643 680">リンダ・ブラックモン・ロワリー 原作 エルズベス・リーコック 原作 スーザン・バックリー 原作 汐文社 2015.7</p> <p data-bbox="411 685 509 712">【小高～】</p>	<p data-bbox="716 465 1374 674">1960年代、アメリカの南部アラバマ州では、憲法で投票する権利が認められているにもかかわらず、多くの黒人が投票する権利を得るための「有権者登録」の試験に合格できませんでした。投票権を持つ白人が選んだ知事や市長は、人種差別主義者でした。14歳のリンダは投票する権利を勝ちとるために公民権運動に参加します。何度も刑務所に入れられ、暴力をふるわれますが、決してあきらめませんでした。この本には、投票権を求める行進に参加した少女の記録が記されています。</p> <p data-bbox="1145 685 1374 712">(J316-セル-1111088844)</p>